

いわみざわ男女共同参画マガジン

# ア・ライク

ア・ライク (A'like) ～共に生きる～  
〈同様の・等しく〉という意味を持ちます。

2022年 VOL. 20



〈岩見沢名所探訪シリーズ⑦〉

## 桜並木路

岩見沢市北3条西12丁目にある桜並木遊歩道です。市民によって30年程前に植えられました。灌漑用水路沿いにあり、4月下旬から5月上旬にかけて美しい桜並木が広がります。

## コンテンツ

- 特集 生理の貧困って聞いたことありますか？
- あ・らいくな人（藤本悠平さん）
- 2021 男女共同参画市民フォーラムの開催
- 男女共同参画地域づくりセミナーに参加して
- 市民会議の活動報告



# 特集 生理の貧困って聞いたことありますか？

新型コロナウイルス感染症が長引く中、テレビや新聞などの報道で「生理の貧困」という言葉を聞くようになりました。この生理の貧困について、みんなで知識を深めていきましょう！

## ▶Q1 生理の貧困って何だろう？

経済的理由などで、生理用品を十分に利用できない状況を言います。2017年にイギリスの団体「プラン・インターナショナルUK」が調査を実施し、生理用品を十分に入手できない人たちが一定数いることが認識され、欧米を中心に問題意識が高まっています。

## ▶Q2 どうして最近ニュース等で話題になってきたの？

新型コロナウイルスが長引いていることにより、経済的に困窮する女性が増えてきたことがきっかけです。



## ▶Q3 どうして女性の方が困窮しているの？

女性の方が非正規雇用の割合が多く、コロナ禍で女性の失業者や収入の減少が多くなりました。シングルマザーの失業率も増加しています。

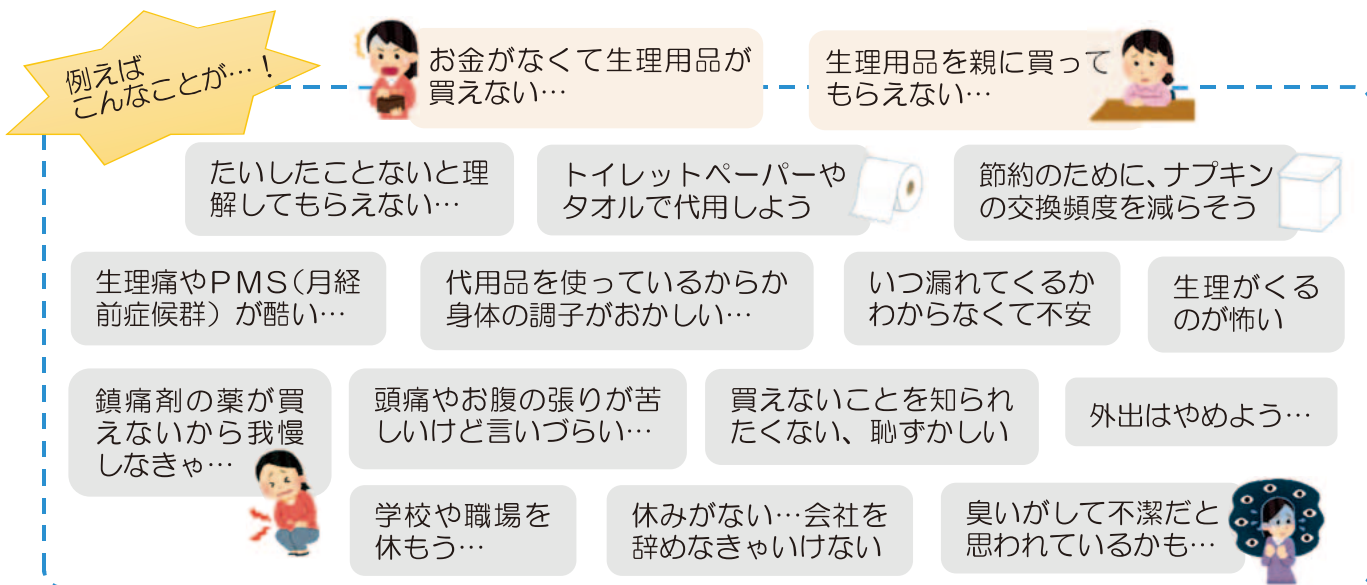


緊急事態宣言が発出された令和2年4月の就業者数は、前の月と比べて大幅に減少しており、男女で比較すると、女性は70万人の減少、男性は39万人の減少と、女性の減少幅の方が大きいです。

また、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」は、雇用者（役員を除く）全体における女性の非正規雇用労働者の割合が特に高いです。

## ▶Q4 「生理の貧困」が広がると、どういう状況になるの？

経済的問題、身体的問題、精神的問題が出てきて、年齢を問わず女性の活躍の妨げになってしまいます。



生理用品が買えないことは体調面に影響を及ぼすだけでなく、勉強や仕事に集中できなかったり、場合によっては登校や出勤ができない状況におちいります。

生理の貧困が理由で十分に力を発揮することができないという状況は、女性の社会での活躍の機会が奪われていると考えることができます。

世の中の半分は女性です。その女性が活躍できない状態になると、もう半分の男性にも影響があり、社会全体の損失につながると考えることができるのではないのでしょうか。

## ▶Q5 どのような対策が行われているの？

日本では、地方公共団体や学校、公共施設などで生理用品の無償提供が行われています。一定の時間ごとに生理用ナプキンが一つずつ受け取れる機械が設置されている例もあります。海外では、法整備を始めるなどの動きもあります。

### 海外の事例



スコットランド

世界初生理用品の無償提供を法整備



アメリカ

ニューヨーク市の全公立学校で無償提供



ニュージーランド



フランス

全ての学校で生理用品の無料提供



イギリス

一部の生理用品に対する税金廃止



生理用品の購入で1ヶ月あたり約1000円かかると計算すると、一生涯では約50万円。  
ナプキンのような生理用品だけではなく、鎮痛剤などの薬や生理用ショーツなどの購入を考えると、金額はもっと増えます。



## ▶Q6 岩見沢市ではどんな取り組みが行われているの？

市では、経済的なご事情等で生理用品の購入が難しい方へ、市内公共施設や学校で生理用品を無料でお渡ししています。また、様々な不安を抱える方へ相談窓口を紹介しています。

### ＜対象者＞

市民または市内に通学・通勤されている方で経済的な事情等で生理用品の購入にお困りの方

### ＜配布内容＞

生理用ナプキン1セット（昼用・夜用各1パック）

### ＜受取方法＞

- ・配布窓口に掲示された案内表示を指さし
- ・チラシまたはカード、スマートフォン等でホームページの画面を配布窓口で提示

予約や身分証の提示は不要です

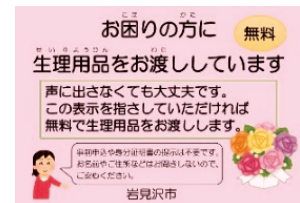


### ＜配布窓口＞

市役所本庁、北村支所、栗沢支所、各サービスセンター、市立図書館、生涯学習センターいわなび、健康ひろば、社会福祉協議会、生活サポートセンターりんく  
※市内の各学校でも受け取ることができます。学校の保健室などに  
ご相談ください。

### ＜相談もお受けしています＞

生理の貧困を含め、様々な不安を抱える方の相談をお受けするほか、専門窓口のご紹介を行っています。



※ピンクの表示が目印です

詳しくは  で検索！

## ▶Q7 私たちにできることって何だろう？

3つのポイントをやってみましょう！

### ①知るところから始めよう！

生理の貧困とはどんなことで、どんな影響があるのか関心を持ってみましょう。



### ②考えたり、話題にしてみよう！

生理の話はタブーではありません。話してみ、抵抗や偏見をみんなでなくしていきましょう。



### ③知識や取組を広げていこう！

生理についての正しい知識や様々な場で行われている活動を広めて、みんなで支え合っていきましょう。



## 生理用品の寄附にご協力ください！

市では生理用ナプキンの寄附を募っています。この取組にご賛同いただける方は、ぜひご協力をお願いします。

### 【対象】

生理用ナプキン  
※購入から概ね5年以内で  
パック単位で未開封のもの  
(昼用夜用は問いません)

### 【受付場所】

市役所市民連携室  
岩見沢消費者協会



# あ・らいくな人



岩見沢市の「人」が  
好き！

岩見沢ねぶたプロジェクト  
実行委員会実行委員長

北海道教育大学岩見沢校4年生

ふじもと ゆうへい  
**藤本 悠平 さん**

【プロフィール】

年齢：22歳（R4.3月末時点）  
出身：青森県青森市  
家族構成：両親、妹、祖母  
趣味：街歩き



岩見沢に約20年ぶりにねぶたを復活させ、令和3年8月21日から10月16日に開催された「岩見沢ねぶた祭」で実行委員長を務めご活躍された藤本さんにインタビューをしました！

## Q ねぶたプロジェクトを立ち上げたきっかけは何ですか？

大学1年生の時に学生の仲を深めるために何か始めたいと思ったのがきっかけで、自分が青森市出身なのでねぶたにしました。最初は4〜5名の学生でスタートし、入れ替わりながらも30名前後で活動を続けてきましたが、青森市出身者は自分以外に一人しかおらず、最初はなかなかねぶたの共通イメージができなくて苦労しました。



## Q これまでどのような活動をしてきましたか？

1年目の2018年は岩見沢複合駅舎2階のホールに大学で作成したねぶたを持ち込んだり、その場で作成したりしました。翌年は小さいねぶたづくりのワークショップも入れて、観光客や市民に参加を呼びかけました。2020年と2021年はコロナ禍で駅舎では開催できないかわりに、子供達の絵のコンクールを行い、小1から高3までの327名の作品から市民投票でねぶたの題材を選定しました。子供達を巻き込む取り組みとして、2020年に中央小・美園小・第一小学校でねぶたの出前授業も行いましたが、2021年は祭りの準備で精一杯で実施できませんでした。

ねぶた祭は2020年に行う予定でしたがコロナ禍で中止しました。延期後の日程は2021年の8月21日から10月16日までの開催とし、期間中はワークショップ開催やオンラインで情報発信を、最終日の夜にはねぶた運行を行うことができました。



## Q コロナ禍による祭りの延期や活動が制限される中で、モチベーションを保つことは難しくありませんでしたか？

応援してくれる人の支えや参加してくれた子供達の為にもモチベーションが下がることはありませんでした。延期したねぶた祭りは自分の卒業後でも、次夏の開催になったとしても良い、必ず開催するぞと思っていました。

## Q 商店街とのコラボはどのようにしたのですか？

実行委員会には、広報・企画・ボランティア統合等のチームがあり各チームにリーダーがいます。全体で50名弱の学生です。それぞれがまちの人と連携して、商店街とのコラボが実現しました。

活動の全てを自分一人で行ったように思われがちですが、実際、商店街でねぶたの商品が販売されていたのは各チームの学生が発案し行ったことです。2020年・2021年は実行委員会の「街とコラボしよう」チームと商店街やまちの人の協力もあり、共に活動を盛り上げてきたというのはなかなか分かってもらえない部分ですが、本当に多くの人とのつながりで色々と助けられました。



### Q 大きなプロジェクトですが、資金調達はどうしましたか？

みんなで考えて、寄付金や協賛金の他にクラウドファンディングにも取り組みました。クラウドファンディングでは約150万円が集まり、青森市民や大学の卒業生からも支援していただきました。商店街の人には市の補助金について教えてもらいました。テレビのCMで流れている太陽財団の補助金は自分で見つけて申請し、2年連続で通りました。大学にも地域と関わることで資金援助されるシステムがあったので活用しました。



### Q このプロジェクトを通して藤本さん自身の変化はありましたか？

子供の頃はゲームもしない、図書委員会にいて面白い本の紹介をするくらいであまり表立ったことはしない子でした。ねぶたプロジェクトをやり始めて、まちの人と関わるようになってから、新しい事をやりたいと思うようになりました。

### Q 岩見沢の好きなところは？

聞かれたらいつも「人です！」と答えています。青森では街歩き中に知り合いと偶然出会うことはほぼなかったです。岩見沢では、学生を支援しようというまちの人の協力体制がすごかったこともあります。街中を歩くと必ずと言っていいほど知り合いに声をかけられます。人口7、8万人位の大きさのこのまちが、楽しくコミュニケーションがとれて良いと思います。



### Q 教育大生と市民が繋がるには？

岩見沢というまちが音楽以外の芸術やスポーツの振興を連携しているイメージがなく、大学と市民との距離も遠く感じるため、2年生の時にまちの人と学生が話せる場を作ろうと企画し、市役所の方とコラボしたこともありました。市民が大学のファンとなり応援してくれるような関係や市民と学生が気軽に楽しく交流できる場について、市側だけでなく大学側も考えていくことが必要ではないでしょうか。

### Q 将来、岩見沢市はどんなまちになってほしいですか？

ねぶたを大学とまちの人との関わりに実験的に使ってみましたが、ねぶただけではなく、もっと活発な、様々なプロジェクトに発展して、学生が卒業後も岩見沢市に戻ってきたいと思えるような経験ができるまちになってほしいと考えています。

これは私の卒論のテーマでもある「関係人口を増やす」ことにつながります。このまちをどうにかしたい、岩見沢の未来を本気で考えています。卒業後の就職先は東京の広告代理店ですが、そこで色々な経験を積み、将来的には岩見沢市に戻って、大学とまちをつなぐまちづくりの会社など、何か起業できればと考えています。



### Q 最後に、藤本さんの世代の男女共同参画とは？

ねぶたの実行委員やチームリーダーはほとんど女子です。就職して仕事をしていけば性別による役割分担を意識したかもしれないかもしれませんが、何も知らない学生だけで行ってきたので自然と「できる人がする」をできたような気がします。技術的・知識的なことに男女差はありませんし、男女共同参画は普通のこととして私の世代は考えていると思います。

# 2021 男女共同参画市民フォーラムの開催

テーマ：多様性を認め合える社会を目指して

日時：令和3年12月4日（土）午後2時00分～3時30分

会場：岩見沢市自治体ネットワークセンター マルチメディアホール

## 講演 性的マイノリティってなに？ ～楽しく学ぶ、ジェンダー、セクシュアリティ～

講師 仲岡 しゅん さん（弁護士 うるわ総合法律事務所）

新型コロナウイルス感染症の影響で2年越しとなったフォーラム。登場した仲岡しゅん氏は、背が高く、長く美しい髪が印象的！初めの自己紹介で、自分はトランスジェンダーで男性から女性に性移行した弁護士であると話されました。参加者の反応が鈍いとテンションが下がり声も下がり男性の声になってしまうと声を変えて笑わせたり、大阪弁でユーモアを交えるなど終始楽しい雰囲気での講演会でした。

前半は、性の多様性について、LGBTについてわかりやすく説明してくれ、トランスジェンダーとは生まれ持った性とは異なる性で生きる人であり、性同一性障害は医学的な用語であるといった違いや、海外のレインボーカラーの写真も紹介してくれました。

後半は、ジェンダーにまつわる自身の体験談のお話。その経験からカミングアウトは信頼関係があるからできることなので、アウティング（本人の了解なしに他の人に暴露すること）は決してしてはいけない、と強調されました。

また、色紙を使用して多様性を表現し、「赤色＝女、青色＝男はおかしい。色紙にはもっと色々な色があり、少ないけど金・銀もある。人も同じで、金・銀（少数者）を仲間はずれするのではなく、貴重な個性として認めよう！」と締めくくられました。



応募総数 31名 88作品  
ご応募ありがとうございました

## 第六回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式は実施しませんでした。入賞作品は啓発展示に活用したほか、フォーラム当日に作品集を配布しました。

### 〈大賞〉

在宅で家事に参画苦労知る 角田悠生さん

### 〈入選〉

目指そうよジェンダーフリーの金メダル 杉山武志さん

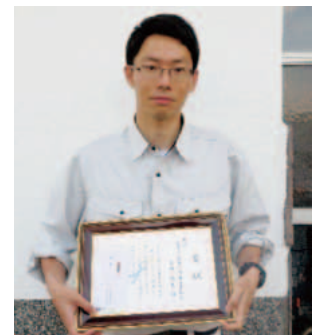
家事仕事家族みんながでばんです 瀬戸廣明さん

家事をする父母の背を見て子は育つ 角田亜理沙さん

ジェンダーに光が当たる窓開けて 前田清徳さん

平等に生きて地球を青くする 松本津也子さん

(※入選は順不同)



大賞の角田悠生さん

〈大賞作品の講評〉 岩見沢文化連盟 岡 嘉彦 会長 より

思わぬコロナ禍によって私たちの日常が変わりました。「在宅勤務」という言葉を普通に耳にする昨今です。在宅勤務によって家事をしているパートナーの大変さを見ることによって、今までの自分の考え方が変わりました。その苦労を理解し、一緒に家事をしている姿と優しさのあふれる家庭の光景が目には浮かびます。川柳の要素の一つに今を詠う事の大切さがありますが、現代の中で捉えた視点が大変良いです。



# 男女共同参画地域づくりセミナーに参加して

岩見沢市主催の「岩見沢市男女共同参画地域づくりセミナー」に参加し、LGBTやDVについて知識を深めました。

## いわみざわLGBTセミナー（令和3年12月19日（日）午後2時～4時）

### ■講義：「基礎知識を正しく学ぼう」

グループワーク：「あなたの身近に当事者がいたら？」

講師：武藤 義弘 さん（レインボーファミリー札幌代表）

武藤さんの講演を聴講するのは平成30年度に開催した第11回ステップアップ講座に続き、今回で二度目です。お話をお聞きする中で、二度目になるとLGBTに対する考え方も理解が深まっていることに気づかされました。

性のあり方は誰にも否定する権利はありません。

先日、江別市が道内では札幌市に続き2例目となるパートナーシップ宣誓制度を導入するという新聞記事を目にしました。LGBTの当事者の方々にとって新たな一歩となることでしょう。しかし、パートナーシップ宣誓制度には法的拘束力がなく、相続や税の扶養など適用されないものが多くあります。一日でも早く法整備がなされること望みます。

私たちいわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議も、さらに横断的な活動が求められると思います。一人でも多くのアライ（LGBTを理解し支援する人）が増え、多様性を認め合える社会になればいいなと思います。



## いわみざわDV防止セミナー（令和4年1月16日（日）午後2時～4時）

### ■講義：「DVと愛着の関係から考える支援と予防」

グループワーク：「あなたの身近に当事者がいたら？」

講師：須賀 朋子 さん（酪農学園大学 教授）

先生は、東京の中学校で英語教師をされていた時に結婚をされましたが、夫からDVを受け離婚され、立ち直る過程でうつ病を発症し、医師とのやりとりの中で幼少期からの虐待に気づいたという実体験を最初に話されました。

なぜ、DVや虐待が起こるのか。それは根底に愛着の問題があるとのこと。愛着とは、心地良さや安心感を感じられる安全基地のような居場所を表しています。幼少期であればあるほど必要なもので、子どもは親が小さなことでも褒めて、抱きしめてくれた経験を積み重ねると、安定した愛着が育まれます。それが保護者と子どもの絆の始まりであり、安心感をたくさんもらっている子は愛着者の親が側にいなくても安心のイメージを持つことができ、困難に直面した時に自分で克服できる状況と助けを必要とする状況の違いを学ぶことができます。愛着が安定したものか不安定なものかにより生涯に大きな違いをもたらすことになる先生はおっしゃいました。

先生がDVから立ち直れたのは、精神科医等の第三者により乖離していた子どもの頃の記憶を認めることが出来たからで、そこからDV等について研究をしようと思ったとのことでした。

不安定な家庭に育った人には、きちんとした大人の手本を見せることで、人生に影響を与えることができるのだと話をしめくられました。私たちも第三者の愛着者として、その役割を担うことができるかもしれません。





# 市民会議の活動報告

令和3年度の街頭啓発活動は、一人ひとりにチラシを配布する街頭啓発から、啓発展示・啓発グッズ配置へと形を変えて実施しました。



## 男女共同参画週間 令和3年6月23日～29日

毎年、6月23日から29日までの「男女共同参画週間」に合わせて、様々な活動を行っています。

今年は、市内3か所で川柳コンテストの展示や男女共同参画に係る掲示、啓発グッズを無料配布し、男女共同参画週間のPRを行いました。

## パープルリボンプロジェクト 令和3年11月12日～25日

11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、市内4か所でDV防止を呼び掛けるパネル展を実施しました。

手作りのパープルリボンや市民会議だより等を入れた啓発グッズの無料配布を行いました。



## 開催準備中!! 2022 男女共同参画市民フォーラム

今年は、「悪魔のおにぎり」の生みの親で「南極大陸昭和基地初のママさん調理人」の渡貫淳子さんによる講演を予定しています。日程・会場等が決まり次第、市ホームページやチラシにてお知らせします!



## 編集後記

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年でした。だからこそ見えてくる課題があります。

今号では生理の貧困について特集しました。生理の貧困はコロナ禍だけの問題ではありません。他人事とは思わずに、皆で考え、取り組んでいきたいと思っています。

また、市民フォーラムでは性の多様性について取り上げ、多様な性のあり方への理解が広がり、性的少数者が抱える生きづらさが少しでも解消されることを願っています。

性別にかかわらず誰もが生きやすい社会を目指して、これからも活動を続けてまいります。



## 市民会議会員募集中

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、一緒に活動していただける実行委員を募集しています。

男女共同参画への理解を広めるため、岩見沢市と協働で様々な取り組みを行ってみませんか。

年齢や性別などは問いません。ぜひお気軽に下記事務局までお問い合わせください。



発行 いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

【事務局】岩見沢市市民環境部市民連携室  
男女共同参画担当

ア・ライク  
VOL.20  
2022年3月

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
☎ (直通) 0126-35-4271  
(代表) 0126-23-4111 (内線 2114)  
E-mail danjo@i-hamanasu.jp